



横浜市立倉田小学校  
幼保小連携推進地区事業推進校

令和3年 10月1日

## 学校だより

“つながり いきいき 倉田っ子”

# 10月号

学校ホームページ URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurata>



### 3年先の稽古

～ICT活用における「長期的視野」と「iPad活用」～

校長 末松 隆一郎

街のそこかしこで秋桜の花が涼しげな風にそよぎ、金木犀ほのかに香る、桐一葉舞う秋麗の頃となりました。

感染拡大第5波による緊急事態宣言も解除され、分散登校も今日で終わり。来週からは7月20日以来全校児童が再会、そして、倉田小の教育活動も、感染対策下ではありますが、通常再開となります。この間保護者の皆様におかれましては、日々の児童の健康管理はもとより、分散登校の対応やオンライン朝の会・授業等へご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

**3年先の稽古** 相撲界には「3年先の稽古」という言葉があるそうです。かつて「昭和最後の大横綱」と呼ばれた第58代横綱 千代の富士関が、インタビューで次のようなことを語っていました。

相撲界には「3年先の稽古」という言葉があるんだよ。今日、明日とか1週間ぐらいやったらすぐに力はつかない。毎日毎日稽古することによって、3年くらい経ってようやく稽古の貯金が増えて、本当の相撲の力がでてくる。そういう信念をもってがんばれる子はよくなっていく。



将来の自分の姿や目標をしっかりともち、そうなるために今何をすべきか、そして、その稽古(努力)を継続していくことの大切さを教えてくれる、素敵な言葉だと思います。では、この言葉を、今、子ども達が取り組んでいる ICT 活用に読み替えてみましょう。

- 3年先の稽古・・・社会のデジタル化・グローバル化が急速な変化を続ける中、未来の社会の変化を見据え取り組まなければならないこと。
- 「今」のための稽古・・・主に iPad アプリ「ロイロノートスクール」を活用した学習、「Google meet」などを活用したオンラインによる教育活動。

子ども達が iPad を使用するのには、端末の使い方だけを目的としているわけではありません。それを活用することにより、その活用を通して、一人一人が自己を尊重し、他の人と協働しながら様々な社会的変化に対応し、豊かな人生を切り開いていくための資質能力を身に付けさせることを長期的目的として取り組んでいます。その目的を明確にもち、今後も「長期的視野(3年先の稽古)」と「日々の効果的活用(今のための稽古)」を大切に進めていきたいと思います。

※緊急事態宣言解除を受け、今後の教育活動・行事予定等については、別紙及び各学年行事予定にてご確認ください。

※写真提供:公益財団法人 日本相撲協会